

スマートフォン操作学習アプリケーションの効果

電気通信大学 大河原研究室

正確に操作を
覚えているか

操作課題成功率

本アプリケーションを約30分使用

n=22 (65歳以上対象)

操作課題	
電源を消す	○
スリープ状態にする	×
...	○
...	○
...	○
...	○
...	○
...	○
...	○
...	○

平均して



10項目の内

77%成功

4週間にわたる

従来のスマートフォン操作指導[1]

n=20 (64歳以上対象)

操作課題	
電源を消す	○
スリープ状態にする	○
...	×
...	×
...	×
...	×
...	×
...	×
...	×
...	×

平均して



17項目の内

54%成功

※操作課題の内容は多少異なります

この結果は、本アプリケーションが高齢者にとってより直感的で操作しやすいインターフェースを提供し、効果的な学習体験を実現していることを示唆しています。

ICTに対して
前向きか

コンピュータ利用に対する態度スコア

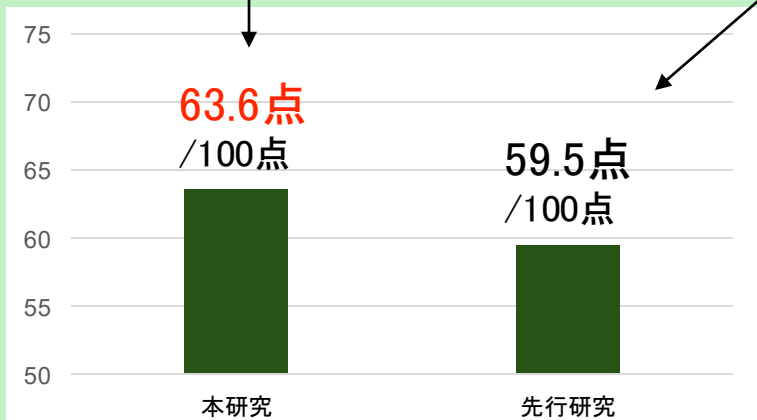
本アプリケーションを約30分使用

n=22 (65歳以上対象)

計50時間にわたる

従来のスマートフォン操作指導[2]

n=173 (60歳以上対象)



得点が高いほど、コンピュータの使用に対する不安が少なく、コンピュータの有用性をより認識し、新しい技術を学習する意欲が高いと解釈できます。

この結果は、本アプリケーションの高齢者に最適化された学習体験が高齢者のICTに対する前向きな姿勢を促進していることを示唆しています。

[1] 須藤智, 原田悦子, 田中伸之輔, 安達悠子と日根恭子, 「高齢者によるタブレット型端末の利用学習」, 日本認知科学会, 2014.

[2] A. González, M. P. Ramírez and V. Viadel, 「ICT Learning by Older Adults and Their Attitudes toward Computer Use」, *Current Gerontology and Geriatrics Research*, v 2015.